

事業の背景・目的

流域単位の持続的な低密度管理を目指し、捕獲方法の改善を行うなどアカミミガメ防除に取り組む。また、本防除が与える生態系への改善効果について検証する。さらに、特定外来生物ナガエツルノゲイトウがアカミミガメ防除による生態系の回復の指標とする希少種へ影響を与える可能性があることや、アカミミガメ捕獲に用いる罟の設置・回収に伴い分布を拡大する恐れがあることから、アカミミガメ防除を円滑に進めるため、ナガエツルノゲイトウの早期発見・駆除にも同時に取り組む。これらの取り組みや得られた成果・知見について、他の自治体等への情報提供や市民への啓発等に用いることで、在来の生態系の保全を図る。

事業の内容

瀬戸川流域における取組

・2市を流れる河川を対象とした捕獲の継続と、目撃頻度が高い地点での集中捕獲や冬季の手探り捕獲など、捕獲方法を改善

・特定外来生物
ナガエツルノゲイトウの早期発見と駆除



谷八木川流域における取組

・周辺ため池を含めた広域を対象とした捕獲の継続と、ため池に設置した日光浴罟の設置方法の改良など捕獲方法を改善

・防除を一時中断した河川と比較し、継続的な捕獲の必要性を検証



明石川流域における取組

・希少種が生息する3つのエリアでの重点的な捕獲の継続



市民による防除活動

・ため池管理者を対象に捕獲罟（日光浴罟）を貸し出すなどの技術的支援を実施
・令和元年に発行した「誰でもできるアカミミガメ防除」の各機関への配布・活用
・神戸市内の複数の公立小学校での外来生物に関する出前授業の実施



得られた成果

事業の成果

・瀬戸川の目標値(誘引罟CPT1.0、1罟あたりに捕獲されるアカミミガメ個体数)が昨年度超過した河川区間を重点的に捕獲や手探りによる捕獲を実践した結果、高い効果が得られた。また、ナガエツルノゲイトウの分布拡大防止のため早期発見・駆除を行なった結果、大きく繁殖する地点はなかった。
・谷八木川では2018年度以降、谷八木川の誘引罟CPTは低下傾向にあるが、谷八木川と同規模のアカミミガメ捕獲を数年中断した河川を対象に捕獲を実施したところ、高い誘引罟CPTを示す結果となり、継続的な防除の必要性が明らかとなった。
・明石川では希少種が生息する3エリアで重点的な捕獲を継続した結果、2エリアでアカミミガメの捕獲はなく、低密度を維持できることが検証された。
活動継続の見通し、事業終了後の展開等

アカミミガメやナガエツルノゲイトウの防除、生態系改善の指標とする希少種の調査に継続的に取り組み、在来種の保全に取り組む。
ため池管理者等の市民がアカミミガメ防除に取り組み、持続的な活動に繋がるようにさらなる働き掛けを実施する。